

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	流山市	代表者名	流山市長 井崎 義治
担当者部署	情報政策・改革改善課	連絡先電話番号	04-7150-6078
担当者役職	主査	担当者氏名	堤 祐樹
住所	270-0192 千葉県流山市平和台1丁目1番地の1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	国の動向や標準化の移行にあたり、各担当部署へ具体的に何をすればよいのかを説明していただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続した支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月23日	9時00分	10時00分		60
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	50人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	現段階では担当部署への意識付けがされていないため、標準化の移行の概要や具体的には何をすればよいか理解が進んでいない。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	市で作成した令和3年度の目標に基づき、市全体で標準化移行準備を行っていくこと。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	コロナ禍によりデジタル化が進行したことをきっかけに、自治体DX推進計画が作成されたことを具体例を挙げながらわかりやすく職員へ説明していただいた。 また、推進計画の重点項目である「自治体の情報システムの標準化・共通化」について、現状と自治体で必要な作業について説明していただいた。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	自治体DXが全部署が関係する必要がある政策であることの意識付けがされた。できることから着手しなければ、令和7年度までに標準準拠システムを開発し、ガバメントクラウドへの移行が間に合わないことを説明会に参加した職員に強調していただいた。 特に「自治体の情報システムの標準化・共通化」については、標準仕様に対して、現行システムとの差を分析し、標準仕様に合わせていくという視点に立った「FIT&GAP」が重要であることを職員へ説明していただいた。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	令和4年1月以降に業者にヒアリングを行い、担当部署とスケジュールについて確定させていく予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演により自治体DX推進計画や標準準拠システム等への理解が進んだことがアンケート結果からも確認できた。また、満足度も高く効果があったと考えている。アンケート内容については別添のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

